夕刊 臺灣新報 五月十六日 第二種郵便物認可 昭和十七年五月十六日（日曜日） 臺灣日日新報 第一万五千五百五十六號 （一）

臺灣新報

五月十六日

敗走蔣軍を急追殲滅

支那民族の自滅

米巡ペンサコラ撃沈

北氷洋海戦 獨機、米艦船を粉砕

獨爆撃機の偉動

北氷洋海戦の經過詳報

翼贊政治會こ併立

國民運動の大主柱

大政翼贊會愈よ再發足

腾越（濮緬公路要衝）に到達

狼狽の重慶

蔣介石昆明に飛び督戰

岩崎支那派遣軍報道部長喝破

英印軍と敗退 滇緬マラソン戰を演じたのは蔣政權軍

英本土空襲 被害

ケルチ狂火

金融統制會の設立委員會

浙贛線要衝を爆撃

翼贊會と緊密連繫 擧國的政治力結集

生れ出づる翼贊政治會（下）

南方對策を懇談

永田顧問等を總督招待

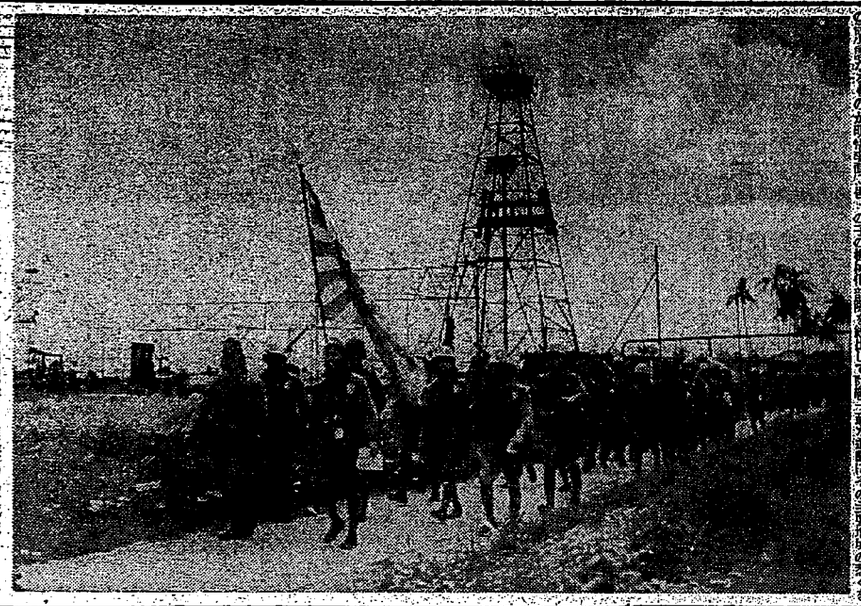
翼贊政治會の大主柱

高等商船學校增設

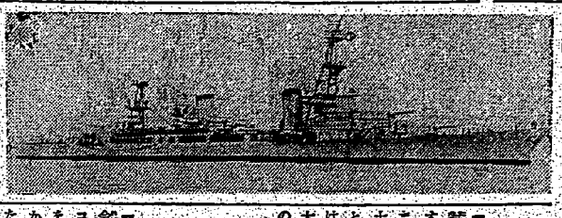
戰時船員需給對策決定

長谷川總督の高雄州視察

翼贊政治會第一回總委員會



セラム島攻略戰 炎天下ブラ油田地帶を進撃の陸戰隊（陸軍省許可寫眞第二七一號）



七性ホルモン 錠 作用を異にする 夢 武田新亞
ンチスペイオ 錠 に原価の性女★ に香港原年夏

大東亜音楽集成
共榮圏の音樂文化を知る最も適切な讀物
第一回配本 インドネシア篇（上）
會員募集中！
全二十二回
（上）中・印・暎（下）
（上）ビルマ・マレー（下）アジア
各巻定価四六判

産増！撃突
メンソレータム
一心不亂 メンソレータム 持ってゐても これは嗜み 怪我なきを 祈る。

良藥と實寶錄 無代進呈
光明光
腦病神經系統諸病

田邊發賣品
双球菌性
淋疾 肺炎 中耳炎 扁桃腺炎
症膿化全に
ンアリ

神靈入御の時刻消燈
擧島・感謝の祈念行ふ
忠勇なる遺烈に應ふ
合祀、祭神 九千一百二十六柱

◇增加に伴ふ祭神名の發表については遺族の意向を尊重して逐次發表すること

◇祭典は海軍の行事として擧行し陸軍關係の祭神に關する祭典は陸軍において行ふこと

◇五月二十二日夜靖國神社祭神殿の儀は午後九時から約一時間、入御の時刻（八時半の豫定）ラジオ放送により

◇二十五日に行はれる臨時大祭は午前十時から約一時間、陸軍關係の祭神に關する祭典は陸軍において行ふこと

◇二十二日午後七時三十分から靖國神社において海軍關係の祭神に關する祭典の斎行を行ひ各々其の在所に於て遙拜の儀に準じ二十秒間黙禱を行ふこと

海軍省發表＝合祀せられる英靈の總數は左の通りである（括弧内は旧祭神）

陸軍	將官	一〇五
	佐官	二四九（二）
	尉官	一二七四（四）
	下士官	五〇（一）
	兵	七三（二）
海軍	將官	一〇
	佐官	三二（四）
	尉官	四二（二）
	下士官兵	六七二（一〇）
計		三九一

社頭に感激の對面
譽れの參列遺族に招待狀

靖國神社臨時大祭に參列する遺族のうち、海軍關係では第一回の參列者である（括弧内は旧祭神）

陸軍	將官	一三（一）
	佐官	二四九（二）
	尉官	一二七四（四）
	下士官	五〇（一）
	兵	七三（三）
海軍	將官	一〇
	佐官	三二（四）
	尉官	四二（一）
	下士官兵	六七二（一〇）
計		一〇五

島都防空の完璧へ
廿、廿一兩日 臨時第二種防訓實施

午前八時、警戒警報發令と同時に防空關係官廳、會社、工場、學校、町内會、隣組等は一齊に防空活動を開始し、午前十時、警戒警報解除と同時に一齊に活動を中止する

遺族の接待に萬全
總督訓示を傳達

島都各團體から土産品贈呈

分秒の油斷許されぬ
暗闇の海上索敵
神速果敢な行動に驚歎

海洋錬成會（上）

故川崎中佐以下英靈
戰友に護られ凱旋
十八日 朝臺北驛着列車で

敵前渡過記念碑除幕式
きのふ・ジョホール水道河畔で

島都各團體から土産品贈呈

南方進出基地から
全體本位で再出發
臺灣を語る永田秀次郎氏

産業戰士育成
入所錬衝終る

積極的に婦人を錬成
基隆市・愈よ十九日から開催

全島大學、高專
水上競技大會
卅一日基北市で

二步進んだ簡易裁斷の
洋裁が……自宅で習へる

二國志
（764）
（赤壁の卷）
吉川英治作
矢野橋村畫

島都防空の完璧へ
廿、廿一兩日 臨時第二種防訓實施

南方進出基地から
全體本位で再出發
臺灣を語る永田秀次郎氏

故川崎中佐以下英靈
戰友に護られ凱旋
十八日 朝臺北驛着列車で

敵前渡過記念碑除幕式
きのふ・ジョホール水道河畔で

分秒の油斷許されぬ
暗闇の海上索敵
神速果敢な行動に驚歎

海洋錬成會（上）

臺灣日日新報　第一万五千五百五十六號　昭和十七年五月十九日（日曜日）　（第一種郵便物認可）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　（一）

臺灣新報

日刊夕共六頁

緬甸公路に沿ひ猛進
雲南省の腰越を占領
莫大なる資材を鹵獲

【東京發同盟至急報】大本營發表（十六日午後五時三十分）雲南省境を突破ビルマ公路に沿ひ進撃せる帝國陸軍部隊は五月十日騰越を占領せり同方面の作戰に於ては敵の殘置せる兵器、彈藥の外莫大なる資材を隨所に鹵獲しつつあり

【リスボン十五日發同盟】倫敦來電によればビルマ戰場を越えて重慶を脅威の日本軍は山また山の總攻撃の○○○○（削除）に記したと、同地は古代からビルマ、支那間の隊商路として拓けた商都である

援蔣ルート完全窒息

【東京發同盟】ビルマ方面のわが陸軍部隊に壓迫されつゝある英印軍は五月五日の拉孟、五月八日の騰越の陷落に續いて、八日夜の一擊により同方面の要衝龍陵（保山の東南）に進出、八日夜の一擊はビルマ奥地インドキャンに突入これに沿ひ英印軍は三日騰町方面、四日龍陵、四、五兩日龍陵、五日より九日に至る間龍陵北方高地に於ても夫々主要陣地を占領するに至つた、この間連日猛烈なる空爆と地上砲撃を加へ敵の退路を遮斷し、敵をして遂に重慶、昆明、騰越、保山、龍陵、芒市、畹町、拉孟、騰衝を結ぶ四邊の全地域に亘る廣大なる地域に於ける敵の全兵力を騰越、龍陵、保山の三地點に集中せしめつゝあるが、今次騰越の占領はビルマ・ルートのバーモより昆明を經る滇緬公路、即ち援蔣ルートと完全に遮斷するに至つた

古代より隊商路上の都會

【東京發同盟】十五日發表の雲南省の騰越は古代からビルマ公路に通ずる一線の會する點として開けた都會で、騰衝、龍陵、保山、畹町、芒市、拉孟、騰越を結ぶ四邊の全地域に亘る廣大なる地域に於ける敵の全兵力を騰越、龍陵、保山の三地點に集中せしめつゝあるが、今次騰越の占領はビルマ・ルートのバーモより昆明を經る滇緬公路、即ち援蔣ルートと完全に遮斷するに至つた

東久邇宮盛厚王殿下
比島前線に御挺身
御勇武の程恐耀感激

【東京發同盟】陸軍省發表○○○○（十六日午後五時三十分）東久邇宮盛厚王殿下には今回○○○○

沿岸船腹不足緩和

督府木造船建造を助成

今議會へ百廿萬圓の追加豫算提出

船腹斡旋に努力

臺灣商議所で要綱決定

昭南船渠再建成る

血と汗を祕めた建設戰

大東亞建設と臺灣

米穀增產に重點を

邦人の南方進出と工業化へ　森田臺中州知事談

臺灣へ南方纖維工業

資本金百萬圓で近く創設

蘇澳近海に大漁場

きのふ基隆へ一萬餘圓の水揚

資本金四百萬圓

臺灣纖維製品統制株式會社設立へ

南方物資交流

への必須對策

植物檢查事業職化が緊切

地方長官に聽く（三）

青少年團の結成を慶ぶ

皇國青少年道確立に期待

イチジク浣腸

發賣だ！

無線綜合講義

東京無線技術學校

パピリオ クレーム

勝つて兜の緒を締めよ

特種動物精膵藥 救心

ホンミクローゼ

血走る瞳見開いて
大海洋に潜航索敵
(上)
潜水艦印度洋を征く

まだ暗い「艦内から帰ってきた兵士の顔を見ると、どの顔もどの顔も血走っていやうだ」と艦長が語る。すばしこい敵潜水艦の跳梁に対して我が潜水艦の勇士たちは昼夜の別なく索敵に索敵を重ねてゐるのである。印度洋に出撃するまでの我が潜水艦の勇士たちの苦心は並大抵のものではなかつた。敵の潜水艦の跳梁する印度洋は、敵の本拠地から遠く離れてゐるばかりでなく、

藥草豊富な海南島

だが輸入しての"加工"は"採算"割れ

臺大病院 塚本博士の視察談

古來醫藥の寶庫として知られてゐる海南島に、昨年秋の攻略後、軍の要請に應じ、臺大病院から塚本博士を團長とする醫學調査團が派遣され、約一ヶ月に亘り同島を隈なく調査したが、今回その調査を終へて歸臺した塚本團長は、同島の醫藥資源の豊富なことに驚嘆の聲を放つてゐる、同博士の談話は次の如くである

今度の調査は、主として藥草を中心とし、それに關聯ある風土病、傳染病、寄生蟲病、地方病等を調査したのであるが、海南島は古來藥草の寶庫として知られてゐるだけあつて、實に豊富な藥草が自生してゐることを發見した、これらの藥草は、從來は殆んど全部を支那本土から輸入してゐたのであるが、今後は現地で採集して内地に送ることが出來るし、また現地自給の上から言つても、これを開發することは極めて必要なことである、

尚ほ、これらの藥草に就いては三百餘種の他の藥草地で現在採取し、或ひは栽培してゐるものもあり、從つてこれらの藥草の内、輸入に頼つて來たものはこれら山野に原生してゐるものを採取するにしても、栽培するにしても容易であり、また内地に於ける藥草の需要に對しても充分間に合ふ見込みがあるし、これらを内地に送り込む場合の交通の點についても、海南島は内地と同緯度にあるので、内地と同じ氣候條件の下に栽培することが出來るし、また内地に於ける藥草の需要期と海南島からの輸送期とが丁度よく合致するといふ點からしても、